



本当にあった怖い話

症例で
学ぶ

呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

難易度

★★★★☆

開催日：2023年 2月25日(土) 10:00～16:10

会場：インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間 2週間あり

講師：曷川 元 先生 (日本離床研究会 学術研究部)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外も受講可) ※先着順：定員になり次第締切り

受講料：会員 9,800円 一般 12,800円 (税込)

新入会 会費無料

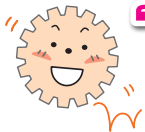


急変・悪化したらどうしよう・・・

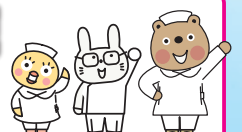


そんな不安を吹き飛ばすとおきの手段とは？

1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて・・・そんな悩みはありませんか？ そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活きた知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！ さあ、あなたもベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



“教科書だけ”の知識を“活きた知識”にする！ 50の症例で学ぶアセスメント成功術！！



Lesson 01 ここがチェックポイント！呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ！！

01

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。

すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子を見て良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成！

やってみよう！こんな場合は異常？

Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下！

胸痛を伴ってSpO₂ 88%に低下、呼吸音は正常人工呼吸器を装着したらPaCO₂が50torrに！

このコマで取り上げるパラメータ

血液データ / 心電図 / 血液ガスデータ /
フィジカルアセスメント

Lesson 02 こんな場合は離床してはイケナイ！疾患別にみるデータ解釈のポイント

02

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫！？

そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説！

これを知っていればビクビクしないで大丈夫！！

- ・肺炎
- ・誤嚥性肺炎
- ・術後患者
- ・心不全増悪
- ・COPD急性増悪
- ・心筋梗塞後
- ・不整脈患者
- ・脳血管疾患合併例
- ほか



Lesson 03 こんな症例は急変する！見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応

03

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。

「ここだけは！」というアセスメントポイントを徹底解説！もし急変した時の対応もバッチリ学習！！

呼吸困難を訴えている！

胸痛を訴えている！

投薬で明らかに様子が変わった！

人工呼吸器装着中になにかおかしい！

意識レベルが低下した！

体位変換したら呼吸がおかしい！ ほか



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル2F

ホームページ <https://www.rishou.org/>

TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683

Eメール jsea@rishou.org